

## 薬学教育協議会 令和元年度 薬学と社会教科担当教員会議 議事録

【日時】 令和元年10月19日(土)

会議 13時30分～17時20分

情報交換会 17時30分～19時00分

【場所】 帝京平成大学(〒164-8530 東京都中野区中野4-21-2)

【委員長】 亀井 美和子(日本大学薬学部)

【出席者】 60大学から67名の教員が参加した。

【配布資料】 資料1 令和元年薬学と社会教科担当教員会議プログラム

資料2 出席予定者名簿

資料3 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課 薬事企画官 安川孝志氏資料

資料4 帝京平成大学 福島紀子資料

### 【会議内容】

1. 開催校を代表して、安西偕二郎薬学部長より挨拶があった。

2. 亀井美和子委員長より、挨拶があった。

3. 講演 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課 薬事企画官 安川孝志氏

「最近の薬事行政について」の講演が行われ、冒頭では、大型台風の襲来による被害などに触れ、「災害時において 医療機関・薬局の薬剤師に期待すること」についての話があった。続けて「薬剤師・薬局に関連する最近の状況」「健康サポート薬局やOTC販売について」等、最近の薬剤師を巡る問題があげられた。

4. 「討論・意見交換」

「薬学と社会」の教科の中での活動事例について報告及び意見交換を行った。

テーマは「薬育(薬の正しい使い方の教育)」とした。最近の薬物乱用の使用薬物として10代における医薬品の不適切な使用が増加しているとの報告や、薬機法に、国民の役割として「国民は、医薬品等を適正に使用するとともに、これらの有効性及び安全性に関する知識と理解を深めるよう努めなければならない。」という条文があることから、薬剤師が薬育に関わる必要性について検討した。基調講演として、すでに大学の施設を使って、地域の子供や親に対して薬教育を実践している帝京大学薬学部の齋藤百枝美氏と「薬育ができる人材育成」を目的に、薬学生に薬育及び薬物乱用防止教育ができるよう指導し、小・中学校において薬学生が実践している取組について帝京平成大学の福島紀子の報告の後、意見交換を行った。

5. 最後に、亀井美和子委員長による総括があり会を終了した。